

「九州・沖縄セミナー」

(2008年2月11日(月・祝), 於: 福岡市・九州大学医学部百年講堂)



1. 開催日時: 2008年2月11日(月・祝)
2. 開催場所: 福岡市・九州大学
3. プログラム:

【午前の部】

テーマ: 末期医療における治療行為の差し控え・中止とその判断

座長: 兵庫医科大学 救急蘇生医学講座 教授 丸川征四郎

1. 差し控え・中止の基準と手続きーいったん装着した人工呼吸器は本当に停止できないのか?
演者 東京大学大学院医学系研究科 医療安全管理学講座 准教授 前田正一
2. 治療行為の差し控え・中止と実際
 - (1) 急性期医療における実際と苦悩
演者 久留米大学病院 高度救命救急センター 准教授 宮城知也
 - (2) 慢性期医療(がん末期医療)における実際と苦悩ー在宅末期医療も含めて
演者 広島県緩和ケア支援センター長 本家好文
 - (3) 患者の意思が不明な場合の対応ー代諾の可否と代諾者の範囲
演者 九州大学大学院医学系学府 上白木悦子

【午後の部】

テーマ: 医療機器関連事故ー輸液・呼吸管理関連の事故を中心に

座長: 国立病院機構 姫路医療センター 内科医長 嶋崎明美

1. 医療事故情報収集等事業(日本医療機能評価機構)からみた医療機器関連事故の実際と再発防止に向けた当事業の取り組み
演者 財団法人 日本医療機能評価機構 事故防止センター 部長 後 信
2. 輸液管理にかかわる事故とその防止に向けた取り組み
演者 医療法人白十字佐世保中央病院 安全対策室 セーフティマネジャー 朝倉加代子
3. 呼吸管理・モニタにかかわる事故とその防止に向けた取り組み
演者 九州大学病院 専任リスクマネジャー 秋好美代子
4. 輸液・呼吸管理関連の事故と医師・看護師に対する刑事処罰・行政処分の実際
演者 神戸大学医学部附属病院 医療安全管理室 准教授 江原一雅

4. 参加人数: 約 500 名

以上